



記者発表資料

平成30年 8月23日
国土交通省
福島河川国道事務所

相馬福島道路(霊山～福島)
桑折高架橋(仮称) JR東北新幹線・東北本線での架設作業着手

相馬福島道路 霊山～福島は、平成32年度（一部区間を除く）の開通に向けて工事を進めています。

この度、相馬福島道路で計画されている橋梁で最長となる「桑折高架橋(仮称) 橋長1,218m」のJR部（東北新幹線・東北本線）の上部工架設作業に着手することから現場見学会を開催します。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

- 1. 日時：平成30年8月26日（日）午後11:30～翌27（月）午前2:30頃（予定）
- 2. 場所：桑折町成田堰向地内【別紙1参照】
（桑折高架橋 P13橋脚付近）
- 3. 主催：福島河川国道事務所
- 4. 内容：見学会（事業概要、架設作業説明）

※台風や異常気象時は、作業延期となります。

5. 桑折高架橋(仮称)の概要【別紙2参照】

- 橋梁形式：19径間鋼箱桁
- 橋長：1,218m
- 幅員：12m
- 車線数：2車線
- 架設工法：トラッククレーン・ベント架設工法（JR部分は、送り出し工法）
- 施工者：鉄建建設株式会社（JR作業箇所）

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先			
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所			電話 024-546-4331(代)
副 所 長	もと き まさ のぶ	本 木 雅 信	(内線205)
工務第二課長	まつもと	あきら 章	(内線411)

◇ 見学会日時: 8月26日(日) 23時30分

位置図

別紙1

見学・集合場所

町道204号

(仮)桑折高架橋

(仮)福島北JCT

【見学・集合場所】福島県伊達郡桑折町成田堰向 地内

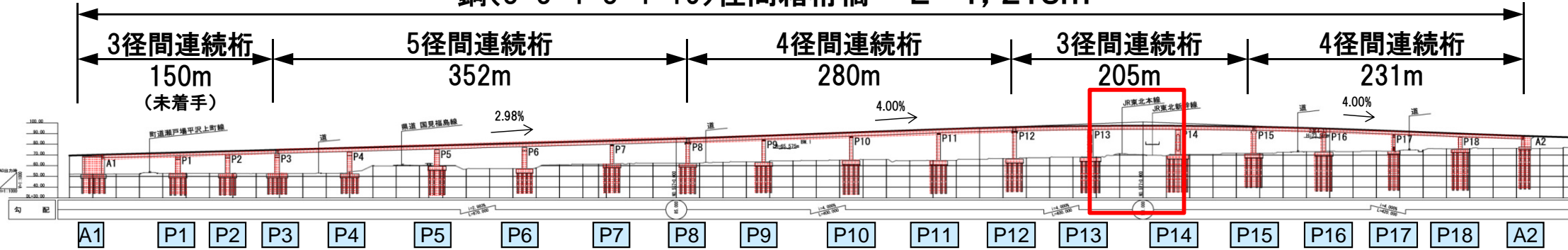
(仮)国道4号IC

相馬福島道路(霊山~福島)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平29東複第33号】

側面図

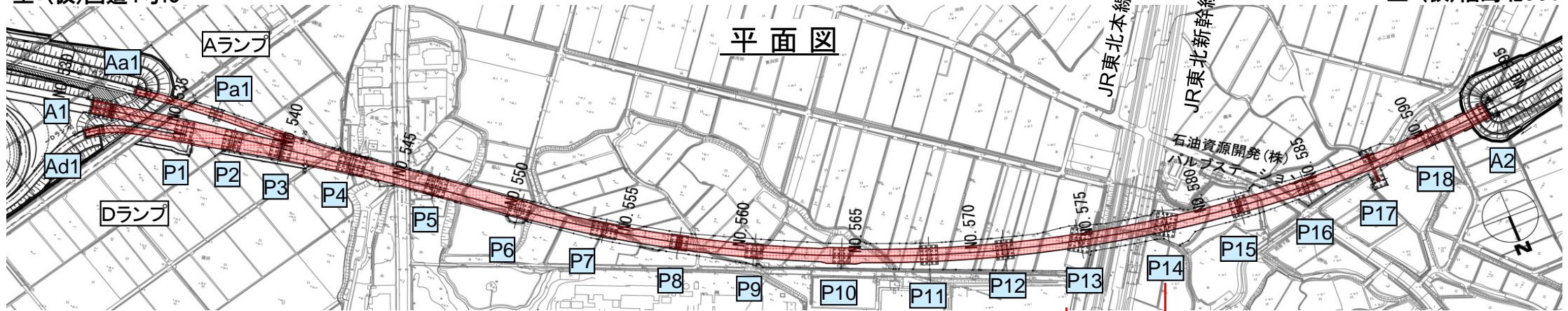
鋼(3+5+4+3+4)径間箱桁橋 L=1,218m



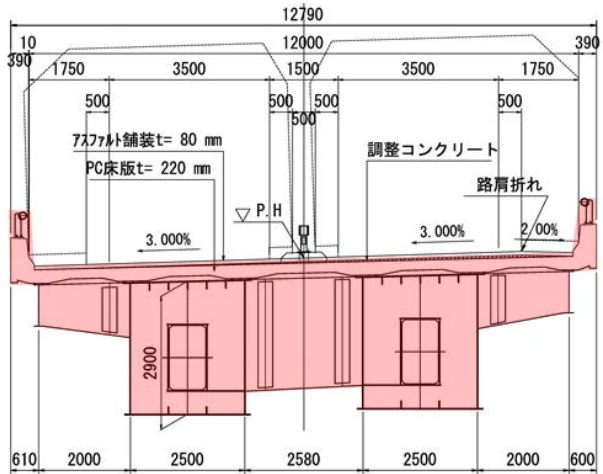
至:(仮)国道4号IC

至:(仮)福島北JCT

平面図

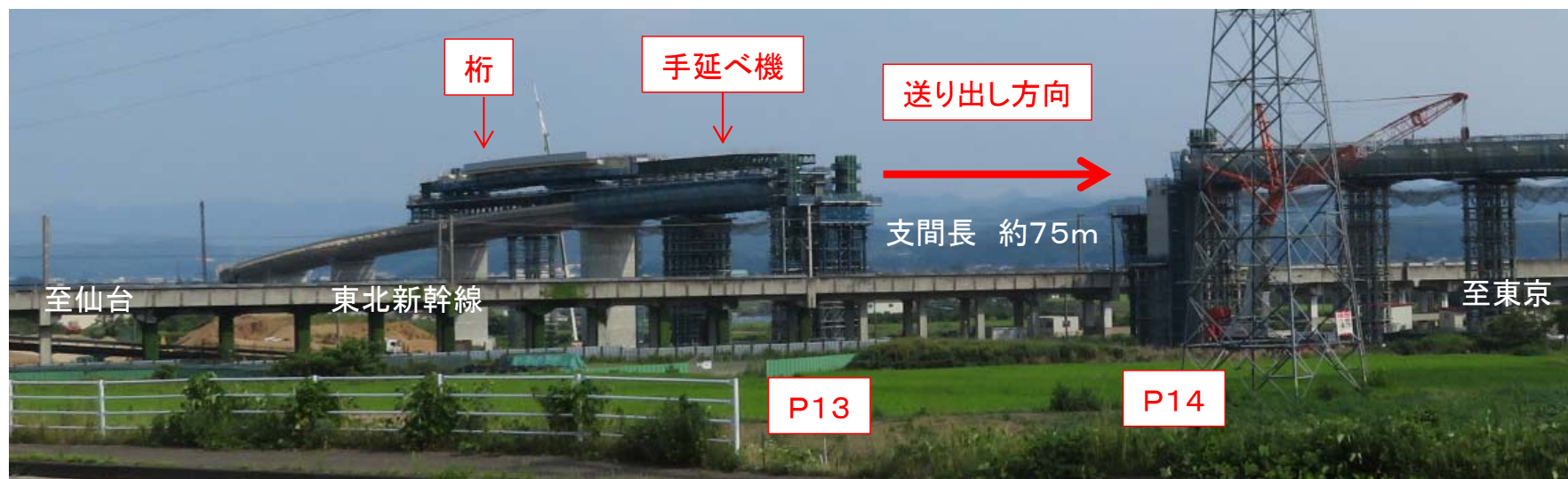
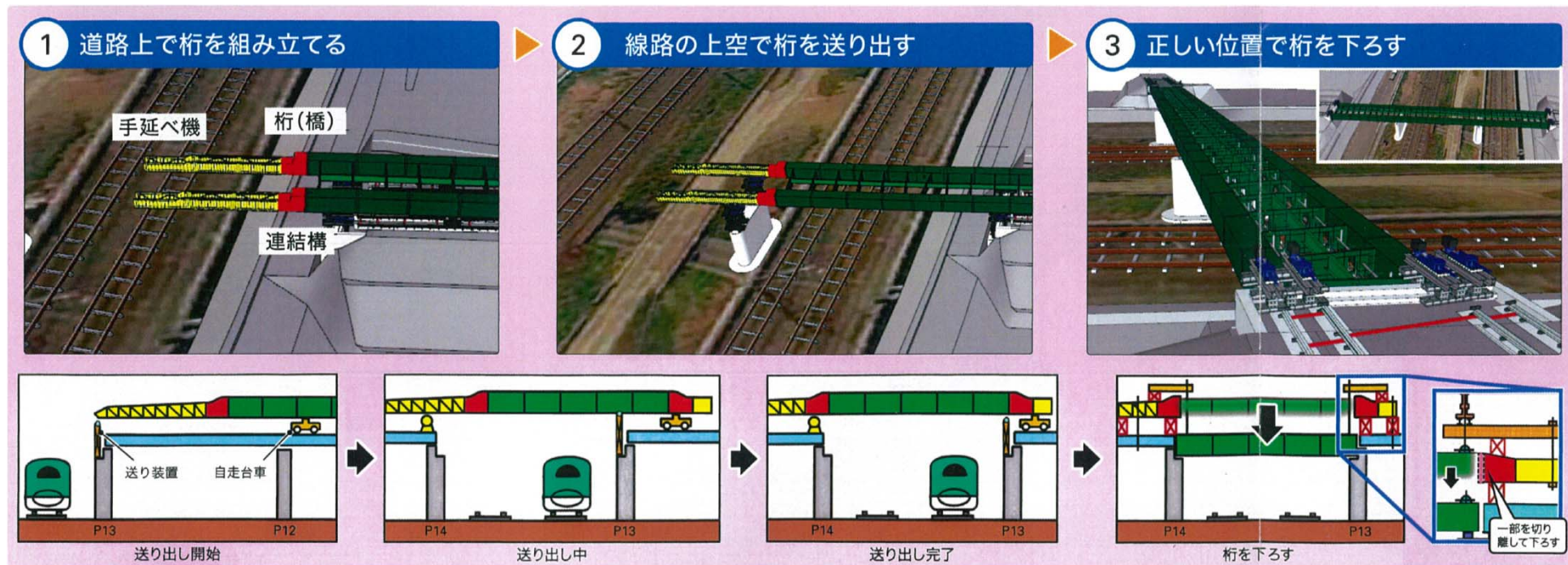


断面図



架設作業区間 P13～P14間
(JR東北新幹線・東北本線上空)

■JR東北新幹線・東北本線上空は送り出し架設工法という工法を用います

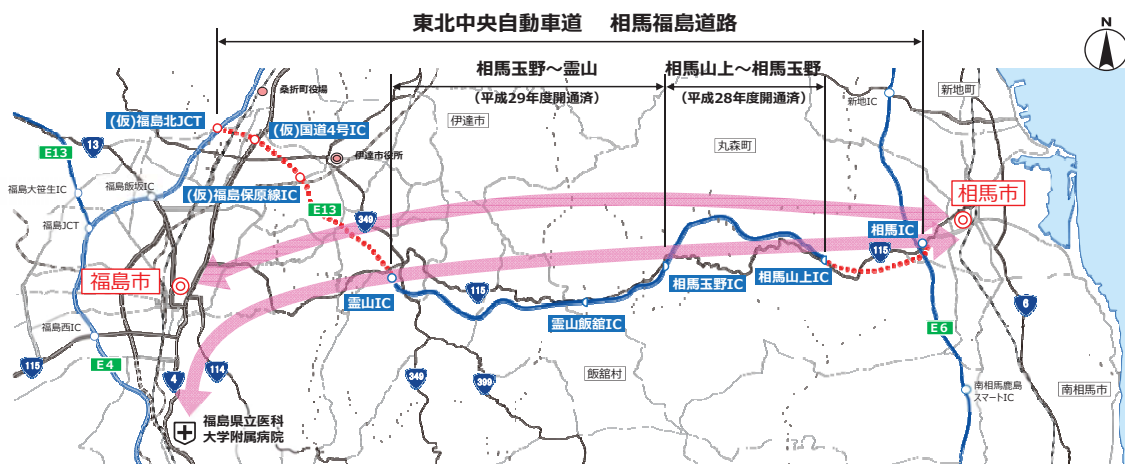


▲桑折高架橋(仮称)の様子(7月18日撮影)

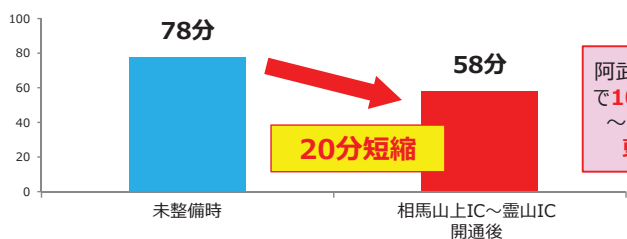
－相馬～福島間の所要時間が短縮－

別紙3

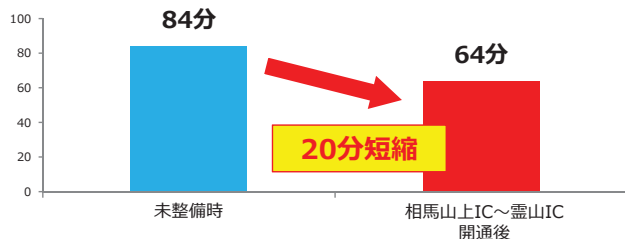
- ◆相馬福島道路（相馬山上IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
- ◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援



▼相馬市役所⇄福島市役所の所要時間の変化



▼相馬市役所⇄福島県立医大病院の所要時間の変化



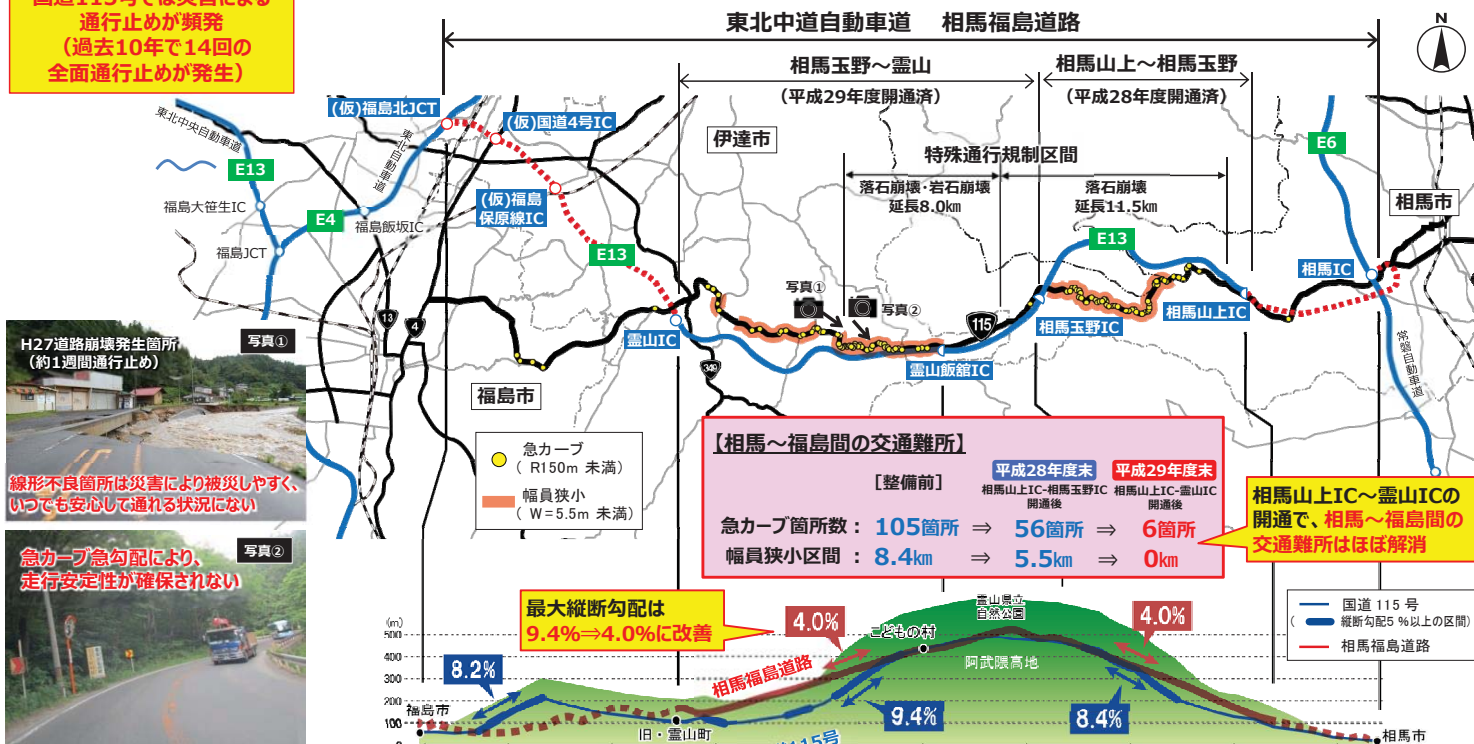
阿武隈東道路の開通で10分、相馬玉野IC～霊山ICの開通で更に10分短縮

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
※国道115号・相馬福島道路経由 ※相馬福島道路の区間は70km/hで算出

効果1：相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

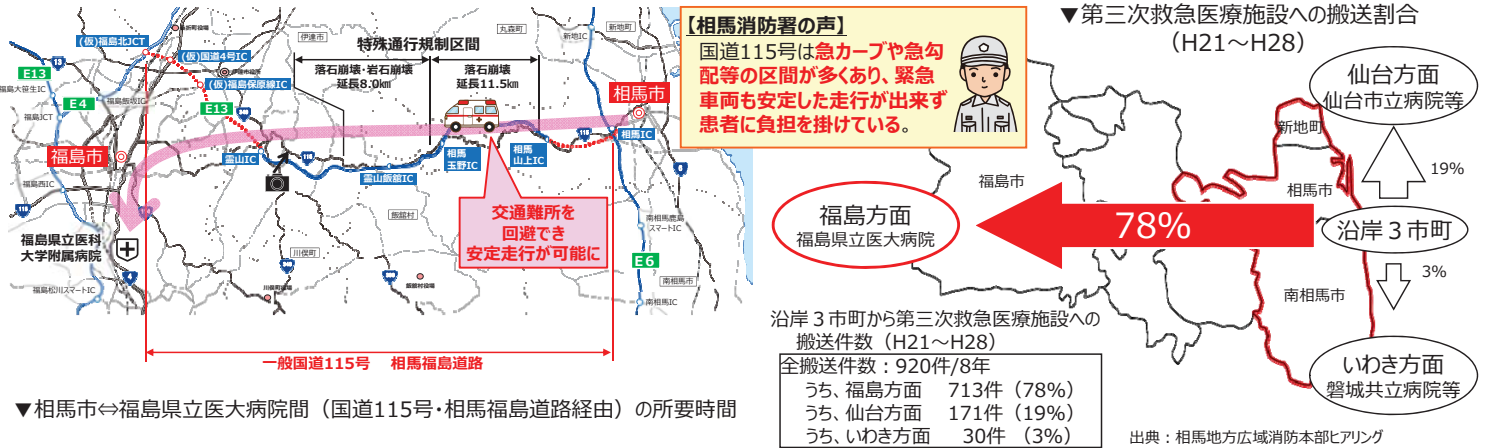
- ◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
- ◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

国道115号では災害による通行止めが頻発（過去10年で14回の全面通行止めが発生）

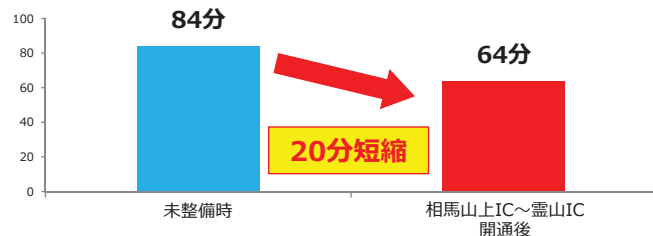


効果2：救急搬送の速達性・安定性を確保

- ◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
- ◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
- ◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減



▼相馬市⇄福島県立医大病院間（国道115号・相馬福島道路経由）の所要時間



出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
相馬福島道路の区間は70km/hで算出



【相馬山上IC～霊山IC間 救急搬送状況】

効果3：交流人口の増加、活発な観光交流に期待

- ◆東北中央道（福島～米沢）開通後、福島市や米沢市内の観光施設において来訪者が増加（約1.4～2倍増）
- ◆H30.3.24に開業した道の駅「伊達の郷りょうぜん」が開業40日で来場者30万人を達成、新たな観光・交流拠点の場を形成
- ◆相馬～福島間の整備により新たな広域ネットワークが形成され、更なる交流人口の増加と活発な観光交流に期待

▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルート形成イメージ



道の駅 伊達の郷りょうぜん（伊達市）



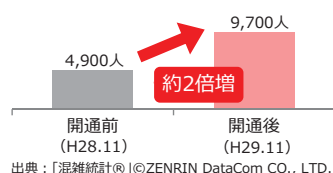
5/2 (水) 開業から40日目で達成
道の駅来場者が30万人を突破

道の駅「伊達の郷りょうぜん」の来場者数が開業から40日目で30万人を突破し、記念セレモニーを行いました。30万人目となったのは、霊山町の菅野さんご家族。記念品として、酒井祐一隊長が、伊達市オリジナル日本酒「初代朝宗」や地元産のイチゴなどを贈呈しました。菅野さんは「おいしそうなイチゴをいただけてうれしいです。道の駅ができて、これからますます地元発展に期待していきたいです」と喜びを語りました。

出典：だて市政だより（平成30年6月号）6

■飯坂温泉（福島市）

▼山形方面からの来訪者数の変化



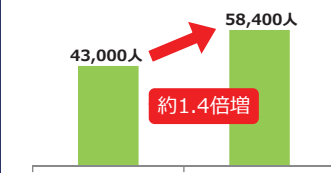
道路開通に合わせた地域連携で山形方面からの観光客が増加

道路開通で地域連携

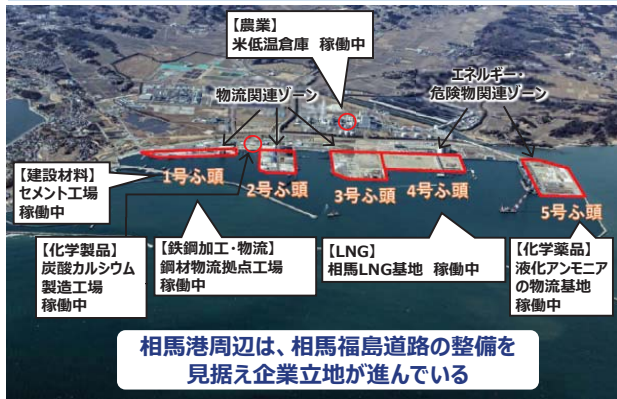


■上杉城史苑（米沢市）

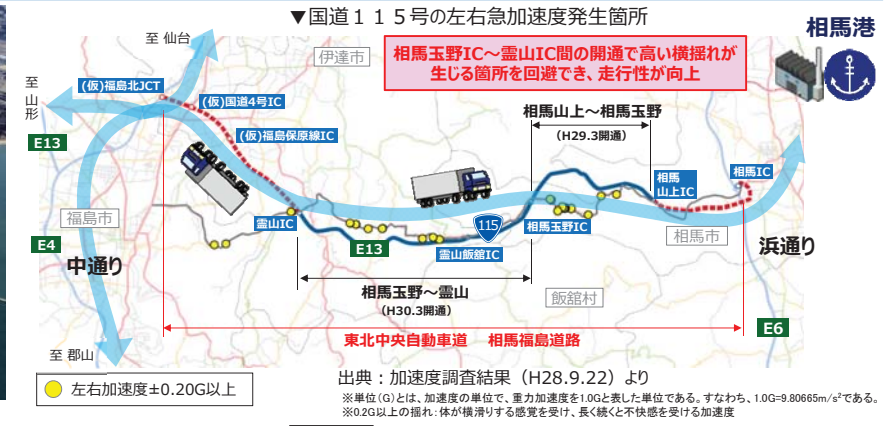
▼観光入込客数の変化



- ◆相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が促進
- ◆国道115号の連続した線形不良区間を走行する際は、常に荷崩れや横転等の危険性が高く、ドライバーの精神的な負担が増大
- ◆相馬福島道路は、中通り地方と浜通り地方との物流を支える大動脈として機能し、走行性の向上や時間短縮による物流効率化により企業活動を支援



出典：福島県相馬港湾建設事務所



出典：加速度調査結果（H28.9.22）より
※単位（G）とは、加速度の単位で、重力加速度を1.0Gとした単位である。すなわち、1.0G=9.80665m/s²である。
※0.2G以上の揺れ、体が横滑りする感覚を受け、長く続く不快感を受ける加速度

【化学薬品製造会社の声】

- 炭酸カルシウムは急カーブ・急勾配が続くと重さが偏り横転する危険性があります。
- 現在、輸送ルートは主に国道115号を利用して、急カーブ箇所も多いので常に細心の注意を払って輸送しております。
- 相馬福島道路が開通すれば、輸送時に横転する危険がなくなる他、輸送頻度・出荷量の増加に繋がることも期待できます。

【農産物取扱流通会社の声】

- 沖縄県への米の出荷量は、年間約4,000tあり、沖縄県向けの米の約8割は会津・中通り地方から国道115号や相馬福島道路を通過して、相馬港まで輸送されます。
- 相馬福島道路が全線開通すると、会津地方、中通り地方から相馬港への輸送負担が軽減されます。
- 道路整備による時間短縮、走行経費削減にも大いに期待しています。

【相馬港進出の鋼材販売会社の声】

- 山形や秋田の日本海側への需要拡大が見込まれ、東北各地へ高速道路を利用したアクセスが優れることから相馬港に進出しました。
- 相馬福島道路が全線開通すれば、物流面の効率化が格段に向上します。

参考 - 東北地方の広域的な道路ネットワークが形成 -

- 東北中央道の開通により、広域的な通行経路の選択が可能となり、悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保
- 相馬IC～横手JCT間における所要時間は約100分（約3割）短縮



出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 昼間非混雑時旅行速度
※所要時間・距離の記載は、東北中央自動車道開通後の所要時間にて算出
※（ ）は現況とし、平成27年度時点の並行路線等の所要時間・距離を記載